

ういやまだよい

Contents

- ★お知らせ
- ★編集後記
- ★診療科：血液腫瘍科
- ★治療紹介：「もぐもぐ外来」
- ★野鳥の世界
- ★外来予定表

2021.3月
Vol.6



発行

群馬県立小児医療センター
〒377-8577 渋川市下箱田779番地
TEL. 0279-52-3551 (代表)
TEL. 0279-52-4000 (予約専用)
TEL. 0279-52-7171 (地域医療連携室)
FAX. 0279-52-7333
URL: <http://www.cmc.pref.gunma.jp/>

お知らせ「検温にご協力ください。」

当院では感染症防止対策の一環として、正面玄関で当センターに入館される全ての方を対象として検温を実施しております。このため他の入り口からの入館を禁止しております。患者様が集中する時間帯には、寒い中、玄関前にお並び頂くなど、ご迷惑をおかけしておりますが、スタッフもできる限りスムーズな入館に努めておりますので、どうかご理解とご協力をお願いします。

なお、体温が37.5℃以上ある方は、別室での対応をしておりますので事前に電話でご連絡のうえご来院ください。ご不便をおかけしますが、よろしく願いたします。

また、保健所や相談センターからの依頼があった場合、発熱外来も実施しております。その場合には、院外のテントでの対応しておりますので、よろしく願いたします。



編集後記

コロナ禍で思うように外出できないストレスをため込まないためにも、おうち時間の充実が大事だと思い、器具を揃えてコーヒーにこだわり始めました。自分なりに丁寧に淹れてゆっくり嗜むひときは何とも贅沢な時間です。最近は暖かい日も増えてきて、春の訪れとともに花粉の気配を感じます。今シーズンのスギ花粉飛散量は例年より少ないものの、昨シーズンよりは多いとのこと。鼻づまりではこだわりのコーヒーも黒いお湯。万全の花粉症対策を講じなければなりません。(井)

委員長：山田佳之

編集：福田 円

委員：今井正浩 岡島正樹 宮川祐子 清水宏史 瀬下明日香 井上陸斗



診療科の紹介

血液腫瘍科

血液腫瘍科

第三内科部長 河崎 裕英



2019年10月に当センター 血液・腫瘍科に着任し、1年が経ちました。当センターでは、科の名の通り子どもの血液疾患、腫瘍性疾患全般の診療にあたっていますが、その中でも特に白血病などの血液腫瘍と小児がんと呼ばれる固形腫瘍を中心に診療しています。

現在小児がんは、治療成績の向上と均霑化をはかる目的で、全国に15の小児がん拠点病院とその下に小児がん連携病院を認定し、そこで治療することが定められています。群馬県では当センターと群馬大学医学部附属病院が連携病院の認定を受け、当センターでは年に十数名の新規小児がん患者を受け入れ、病棟には常時10名弱の患児が入院し化学療法を受けています。

小児がんの治療成績は年々向上してきており（図1）、小児がんで最も多い急性リンパ性白血病の標準リスク群では95%以上の5年生存率を達成しています。さらなる治療成績の向上を目指し、日本小児がん研究グループ（JCCG）の一員として、新規薬剤や新規臨床研究に積極的に参加しています。一方で、予後の比較的良好な急性リンパ性白血病でも、半年以上の入院化学療法と1年半に及ぶ外来治療が必要であり、また、治療中は骨髄抑制があり感染の危険性が高いことから、児や家族の日常生活は大きく制限されているのが現状です。それに対し、当センターでは小児病院の長所を活かし、院内学級やプレイルーム、家族用の宿泊施設などの設備を充実させて児と家族のストレスを少しでも軽減できるよう努力しています。

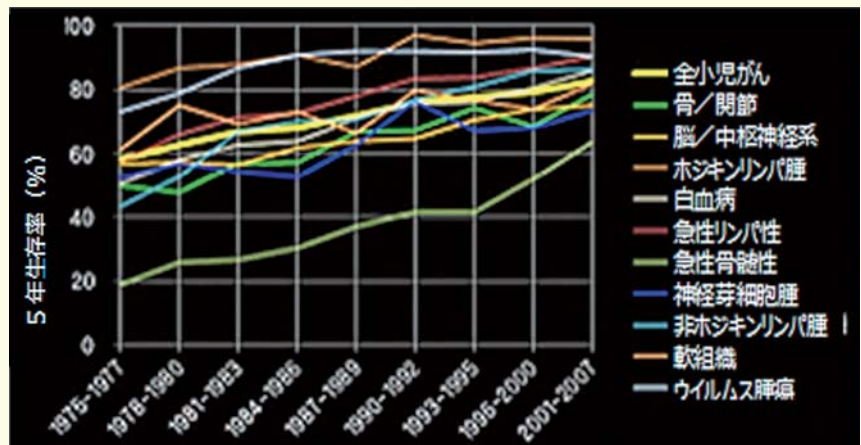
また、治療成績の向上に伴い小児がんを経験し治癒しているいわゆる小児がんサバイバーが増加し、現在では、20歳代の700人に1人は小児がんサバイバーであると推定されています。小児がんサバイバーにおける晩期合併症も大きくクローズアップされてきており、当科では長期にわたり詳細なフォローアップを行うことで晩期合併症を早期に見つけ治療に繋げる努力を行なうとともに成人診療科に引き継ぐ移行医療も積極的にすすめています。

その他、貧血疾患や血友病や血小板減少症などの出血性疾患、好中球減少症、血球貪食症候群、いちご状血管腫などの全ての非悪性疾患も診療しております。

悪性、非悪性を問わず血液や腫瘍性疾患を少しでも疑った場合はぜひご相談ください。



図1 小児がん治療成績



治療の紹介

もぐもぐ外来(歯科)

歯科

部長 木下 樹



小児期は食べたり飲んだりする機能（摂食嚥下機能）を獲得する大切な時期のため、お子様のライフステージやお口の中の状況に応じた支援を行う目的で、2016年4月に当院歯科で「もぐもぐ外来」を開設しました。

小児病院には、生まれつきお口を構成する舌、口唇、顎の骨などの形態異常や、神経や筋肉の機能障害、心臓や消化器系疾患、低出生体重や早産などにより、出生後まもなくチューブによる栄養を長期間行う場合が多く、食べる機能の獲得や発達がスムーズに進まない摂食嚥下障害の患者さんがたくさんいます。

「もぐもぐ外来」では、歯科医や言語聴覚士、必要に応じて主治医が参加して診療を行っています。小児病院で扱う摂食嚥下障害への対応は、患者さん個々に目標が異なりますが、発育途上の患者さんを扱うため、ほとんどが摂食嚥下機能を引き出していくことが中心です。さまざまな原因を検討する中で、機能が獲得できない理由を抽出し、原疾患や障害の治療や成長発育状況を考慮し、主治医と相談しながら対応しています。

小児の摂食嚥下障害の症状は原因により様々ですが、哺乳や食事中のむせや、咳き込み、飲み込んだ後にお口の中に食べ物が残るといった、「飲み込む機能」に関連した異常がある場合には、特に慎重に対応しなければなりません。機能を引き出す過程で特別な訓練が必要な場合には、言語聴覚士が中心となって機能訓練を行います。

また、入院、外来を問わず、摂食嚥下障害の患者さんに、適切なタイミングで介入できるよう、外来部門は「もぐもぐ外来」、入院部門では「栄養サポートチーム（NST）」が窓口となり、入院中から退院後までシームレスに診療できるような体制を整備しています。



一方、年齢と共に摂食嚥下機能が低下する疾患や障害に対しては、必要に応じて嚥下造影検査（写真1）や嚥下内視鏡検査など、精密検査による評価を行い、食べ方や食形態の指導を継続することで、お口から食べられる機能を少しでも長く、安全に維持できるようサポートしています。

もぐもぐ外来受診を希望される場合、当院に通院されている患者さんは主治医の先生にご相談ください。当院受診歴のない患者さんは、かかりつけの医院または歯科医院で当院歯科への紹介状を作成していただき、歯科外来の初診予約をお願いします。

哺乳や食事の進め方について心配なことがありましたら、お気軽にご相談ください。

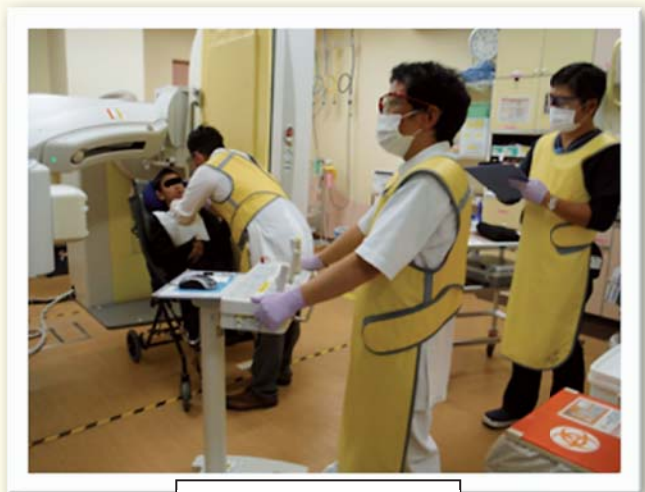
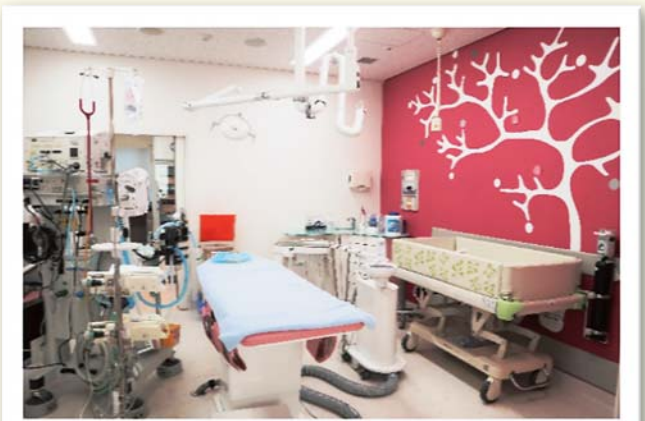


写真1：嚥下造影検査



第6回 臨床検査技師 ＜生理検査編＞

臨床検査技師：田中伸久さん（生理検査課課長）

インタビュー看護師：齊木梨佐さん、津久井大晟さん



Q1. 臨床検査技師の業務内容を教えてください。

当課では生理・細菌・一般検査を担当しています。生理検査は、患者さんと直接接して行う検査です。心エコー検査は主に心臓の形態評価と心機能評価を行っています。被曝が無いので、安心して繰り返し検査を受けていただくことができます。脳波検査は、脳からのごく小さな活動電位を記録するものです。検査時間は、1時間程度で、てんかんの診断・治療や意識障害の把握等、脳機能の評価を行っています。

また、ビデオ脳波検査は、患者さんに入院していただき、映像を記録しながら長時間脳波をとることで発作の波形と映像を同時に評価することができます。新生児の聴覚スクリーニングである AABR を実施していることも当院の特徴です。AABR を行うことで、聴覚障害の早期発見に役立ちます。当院では ABR や ASSR 等の聴覚精査も行い、聴覚機能の評価もしています。

細菌検査では細菌の培養・固定により感染症の原因菌を特定します。薬剤感受性検査やウイルス迅速検査も行っています。PCR 検査も当課が担っています。一般検査では、尿、髄液、胸水などの検査を担当しています。

Q2. 普段の業務で特に気を付けていることを教えてください。

患者・検体間違いには特に気を付け、指差し・声だし・復唱を徹底しています。生理検査では、患者さんの泣き声や動きがノイズになり検査結果に影響してしまうため、静かに動かずにいてもらうことが重要です。泣いている患者さんの不安をやわらげ、最後まで検査を受けてもらえるよう、日々努めています。

Q3. PCR 検査をする場合には、取り扱いに資格が必要ですか？

資格は不要ですが、感染性のある検体を安全に取り扱う技術と、ごく微量な液体試料を正確に、再現性よく取り扱う技術が必要です。

これらは短期間で習得できるものではありませんが、夏以降はフィルムアレイという簡便な PCR を導入していただき、現在は全員がほぼ対応可能になっています。



Q4. 臨床検査技師をやっていると良かったことを教えてください。

群馬県職員となり、これまでに衛生環境研究所（衛研）や保健所などにも在籍し、通常の病院の検査技師には経験できない多くの貴重な経験をさせていただきました。衛研での経験がなければ、今回の PCR 検査導入も難しかったらと思います。

Q5. 生理検査の時、看護師に気を付けてほしいことはありますか。

生理検査室に入る際は、中にいる患者さんに衝突するかもしれないのでドアを静かに開けて欲しいです。また、病棟で心電図をとる際には、すぐ胸が見えるような状態にしていただくと助かります。患者さんに負担がかからないように検査がスムーズに終わるようにお互いに協力しましょう。今後よろしくお願いたします。

✧ 看護師の感想 ✧

今回、臨床検査技師が行っている業務内容を教えていただく中で、検査を安全に且つ正確に行うためには、患者確認や検体採取を手順通りに行うことが、私たち看護師に求められる重要なことであると知ることができました。





副院長の『 野鳥の世界 』

[小林副院長が撮影した野鳥をご紹介]



ジョウビタキ 左:オス(愛称ジョビ男)、右メス(愛称ジョビ子)

全長 15cm。オスは頭が銀白色、顔は黒色、腹は赤茶色。メスは体が灰色味のある茶色。翼に白斑があります。

日本では冬鳥で、積雪のない地方で越冬し、平地から低山の農耕地、住宅地、公園、河原などに生息します。名前のジョウは「尉」で銀髪のこと。ヒタキは「火焚」で、火打石をたたく音に似た音を出すことからジョウビタキなのです。



モズ

全長 20cm。小さなからだなのに、くちばしはタカのようにカギ型をしており、小鳥を捕らえたりもします。えものを串ぎしにする変わった習性があることで知られ、日本ではこれを「モズのはやにえ」と呼んでいます。<撮影：嶺公園>

ルリビタキ(メス)

全長 14.5cm。オスは青いからだ、メスは尾だけわずかに青色です。



オオタカ

全長 50cm(オス)。翼開長 106cm(オス)。成鳥では頭から背、尾、翼の上面は灰黒色。腹は白色で細い横斑が全体にあります。飛んだときの翼は短めで、先端には丸みがあり、尾はやや長めです。

<撮影：敷島公園>

群馬県立小児医療センター 外来診療予定表

(令和3年3月1日現在)

診療科		月	火	水	木	金	備考	
内科	総合内科	午前	清水 彰彦	鈴木 江里子	清水 有紀	鈴木 江里子(第2・4週) 森田 孝次(第1・3・5週)	柴 徳生(第2・4週) 鈴木 江里子(第1・3・5週)	
		午後	山口 有	道和 百合	山口 有	江原 由佳子 椎原 隆	森田 孝次	
	神経内科	午前	椎原 隆 迫 恭子(第1・3・5週) 清水 有紀(第2・4週)	清水 信三(第1・3・4週) 森田 幸次(第2・5週)	渡辺 美緒	鈴木 江里子(第1・3・5週) 森田 孝次(第2・4週)	椎原 隆	
		午後	渡辺 美緒			道和 百合		
	循環器科	午前	小林 富男 池田 健太郎		池田 健太郎		小林 富男(9:30~) 新井 修平	
		午後	池田 健太郎(13:00~15:00) 浅見 雄司(13:00~15:30)	下山 伸哉	小林 富男(13:00~15:30) 池田 健太郎(13:30~15:00)		中島 公子(13:00~15:00) 新井 修平(予約:医師のみ)(13:00~14:00)	
	血液腫瘍科	午後	外松 学(14:00~)	河崎 裕英 鍋木 多映子(何れも14:00~)	河崎 裕英(予約:医師のみ) 大和 玄季(何れも14:00~)			
腎臓内科	午後		丸山 健一(第1・3・5週)(13:30~16:00)		池内 由果(第2・4週)	鎌 裕一(第2・4週)(13:00~16:00)		
アレルギー・感染 免疫・呼吸器科	午前			滝沢 琢己(第1・3・5週) アレルギー検査(第2・4週)				
	午後	清水 真理子(14:00~14:30:初診)	山田 佳之(14:00~14:30:初診) 清水 彰彦(感染症・免疫)	滝沢 琢己(第1・3・5週)(13:30~:再診,14:00~14:30:初診) 野村 滋(第2・4週)(14:00~14:30:初診) アレルギー検査(第2・4週)	山田 佳之(14:00~14:30:初診) 野村 滋(膠原病・免疫)	加藤 政彦(第3週)(14:00~15:30) 清水 真理子(14:00~14:30:初診)		
外科	一般外科	午前		小山 亮太		高澤 慎也 西 明(第2・4週)(9:00~10:30)		
		午後		菊地 健太(第1週) 西 明(第2・4週) 則内 友博(第2・4週) 高澤 慎也(第3・5週)			西 明/則内 友博 菊地 健太(第1・3・5週)(13:00~15:30:初診) 小山 亮太(第2・4週)(13:00~15:30:初診)	
	心臓血管外科	午前					岡 徳彦 林 秀憲 井上 崇道(何れも9:30~)	
		午後	岡 徳彦 林 秀憲 井上 崇道(何れも14:00~)			岡 徳彦 林 秀憲 井上 崇道		
	形成外科	午前	浜島 昭人(9:00~10:00:初診)			浜島 昭人(9:00~10:00:初診)		
		午後	浜島 昭人 江崎 聖美			浜島 昭人 江崎 聖美(14:00~)		
整形外科	午前	浅井 伸治/富沢 仙一		浅井 伸治/富沢 仙一		浅井 伸治		
脳神経外科	午後		藤巻 広也(第2週)(13:30~16:00)					
総合周産期母子医療センター	新生児科	午前		井上 文孝(第2・4週)(新生児・退院支援)				
		午後	丸山 憲一 鍋木 浩太		小泉 亜矢 山崎 優(第1・3週)	丸山 憲一 福田 一代	市之宮 健二	
	産科	午前	産科医師	産科医師	産科医師	産科医師	産科医師	
		午後	産科医師(14:00~16:00:初診)	産科医師(14:00~16:00:初診)	産科医師(14:00~16:00:初診)	産科医師(14:00~16:00:初診)	産科医師(14:00~16:00:初診)	
	胎児心臓外来	午前				循環器科医師		
	胎児超音波 スクリーニング外来	午前					産科医師	
		午後			産科医師	産科医師		
母乳外来	午前			助産師				
午後								
特殊専門外来	麻酔科	午前		廣木 茜		坂本 崇	松本 直樹	
		午後	麻酔科医師(術後)	麻酔科医師(術後)		麻酔科医師(術後)	麻酔科医師(術後)	
	放射線科	午前	畠山 信逸					
		午後	畠山 信逸					
	遺伝科	午前	山口 有(予約:医師のみ)				山口 有	
	歯科・障害児歯科	午前			木下 樹/大嶋 瑛		大嶋 瑛	
		午後(14:00~)	木下 樹 大嶋 瑛	木下 樹 大嶋 瑛	大嶋 瑛	木下 樹 大嶋 瑛	木下 樹 大嶋 瑛	
	耳鼻咽喉科	午前			松山 敏之(第1・3・5週)(9:00~11:00)			
		午後	高橋 秀行(第1週) 新國 撰(第2週) 高橋 秀行(第3週) 井田 翔太(第4週) 高橋 秀行(第5週)(何れも15:00~)					
	眼科	午前			平形 恭子(第2・4週)			
小児精神科	午後					※3		
内分泌代謝科	午後			大澤 好充(14:00~)		※2		
リハビリテーション	午前	理学療法士 作業療法士 言語聴覚士	理学療法士 作業療法士 言語聴覚士	理学療法士 作業療法士 言語聴覚士	理学療法士 作業療法士 言語聴覚士	理学療法士/作業療法士 言語聴覚士 浅井 伸治 (リハ外来,13:00~14:00)		
	午後							
心理検査	午前	臨床心理士	臨床心理士	臨床心理士	臨床心理士			
心理カウンセリング	午後							
予防接種	午後					(第1・3週:13:00~15:00)		

※1: 外来診療の開始時間は、注記のあるものを除き、午前は9:00、午後は13:00から

※2: 耳鼻咽喉科、内分泌代謝科、脳神経外科につきましては、都合により当分の間、新規紹介の受付ができませんのでご了承願います。

※3: 小児精神科外来につきましては、平成28年4月1日より当分の間、休診とさせていただきます。